

# 平成 16 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況（連結）

平成 16 年 2 月 2 日

上場会社名 株式会社 山武 (コード番号：6845 東証第 1 部)  
 (URL <http://jp.yamatake.com/>)  
 代表者 役職名 代表取締役社長  
 氏名 佐藤 良晴  
 問合せ先責任者 役職名 執行役員理財部長 TEL：(03)3486-2021  
 氏名 佐々木 忠恭

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における方法との相違の有無：無

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況

連結（新規）2社（除外）0社 持分法（新規）0社（除外）0社

## 2. 平成 16 年 3 月期第 3 四半期業績の概況（平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 12 月 31 日）

### (1) 経営成績（連結）の進捗状況

(百万円未満切り捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		当期(四半期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年3月期第3四半期	109,719	0.9	1,701	-	1,575	-	1,080	-
15年3月期第3四半期	108,741	-	3,020	-	2,864	-	2,570	-
(参考)15年3月期	167,969		3,274		3,339		5,308	

	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
16年3月期第3四半期		14.69		-
15年3月期第3四半期		32.99		-
(参考)15年3月期		68.65		-

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

平成 15 年 3 月期以外の各数値は監査法人による監査を受けておりません。

平成 15 年 3 月期第 3 四半期は概算による参考数値であります。平成 14 年 12 月に認可を受けた、厚生年金基金代行部分返上益 110 億円が特別利益に含まれております。

### [ 経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等 ]

当第 3 四半期の国内経済は、個人消費は横ばいで推移する一方、設備投資は業種による二極化現象が顕在化するなどまだ模様展開となりました。当社事業に影響を及ぼす建築設備投資と製造業設備投資につきましては、前者は首都圏大型ビル建設の一巡により新規投資が減少する一方、後者は電気・電子・半導体など制御機器市場では活発でありましたが、工業システム市場では投資抑制が続くなど、全般的には厳しい状況で推移いたしました。他方、海外経済につきましては、米国、中国をはじめ景気は比較的堅調に推移いたしました。

このような情勢の中、ビルシステム事業では、建物市場環境の趨勢的变化に対応すべく、既設建物市場におけるソリューション事業へのシフトを進めており、成果も着実に上がりつつありますが、新規建物市場の急速な縮小により全体では減収となりました。また、アドバンスオートメーション事業では、制御機器事業は順調に拡大を遂げ、プロダクト販売を中心とした海外市場の開拓も進みつつありますが、国内工業システム市場における需要の減少をカバーするまでには至らず、全体としては売上減となりました。新規事業につきましては、高い市場成長が期待できるケアビジネスの事業化が着実に進展を遂げております。当第 3 四半期の売上高は、こうした各事業・市場の動向により、前年同期比 0.9%（9 億 7 千 8 百万円）の増加となりました。営業損益は前年同様損失計上となりましたが、コスト削減等による収益性の改善により、損失幅は前年同期比 43.7%（13 億 1 千 8 百万円）縮小し、17 億 1 百万円の損失となりました。

なお、当年度より山武ケアネット株式会社及び中国現地法人の山武環境制御技術(北京)有限公司を新規に連結対象としておりますが、その当第3四半期連結業績に対する影響は売上高で約7億円増、営業利益で約25百万円減であります。

また、山武グループの売上は中間期末及び年度末に集中する傾向があり、平成15年3月期では第3四半期の売上は通期売上に対し、約65%となっております。

## (2)財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年3月期第3四半期	155,159	90,680	58.4	1,232.58
15年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)15年3月期	162,919	91,779	56.3	1,247.07

(注)平成15年3月期以外の各数値は監査法人による監査を受けておりません。

平成15年3月期第3四半期の各数値は算出しておりません。

## [財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の財政状況は以下のとおり(平成15年3月期末との比較)であります。

総資産は、売上債権の減少(108億円)を主因に77億6千万円減少し、1,551億5千9百万円となりました。負債は買入債務の減少、税金、賞与の支払等により67億4百万円の減少となりました。株主資本は、第3四半期の損失計上により10億9千9百万円減少しました。以上の結果、株主資本比率は2.1ポイント上昇し、58.4%となっております。

なお、山武グループの売上は中間期末及び年度末に集中する傾向があるため、売上債権残高は第3四半期においては年度末との比較で減少する傾向にあります。

## 添付資料

要約連結損益計算書

要約連結貸借対照表

セグメント情報(セグメント別損益、セグメント別受注・受注残)

以上

## [参考]

平成16年3月期の連結業績予想(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	173,000	6,800	3,300

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 44円42銭

## [業績予想に関する定性的情報等]

前述のような全般的に厳しい事業環境のなか、各事業とも通期で予想しております業績の確保に向けた施策を展開中であり、現時点では平成15年11月11日発表の数値どおりと予想しております。

\*業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により、予想数値と異なる場合があります。

## 〔添付資料〕

## 1.(1) 要約連結貸借対照表

資 産 の 部				
区分	当第3四半期 (平成15年12月31日)		前連結会計年度 (平成15年3月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
<b>流動資産</b>	115,689	74.6	122,934	75.5
現金及び預金	25,927		32,478	
受取手形及び売掛金	51,536		62,421	
たな卸資産	24,193		17,246	
繰延税金資産	7,174		6,075	
その他の	7,198		5,055	
貸倒引当金	340		342	
<b>固定資産</b>	39,469	25.4	39,984	24.5
有形固定資産	( 15,838 )	( 10.2 )	( 16,597 )	( 10.2 )
無形固定資産	( 1,427 )	( 0.9 )	( 1,536 )	( 0.9 )
投資その他の資産	( 22,202 )	( 14.3 )	( 21,851 )	( 13.4 )
投資有価証券	10,101		8,558	
繰延税金資産	6,562		7,302	
その他の	5,834		6,383	
貸倒引当金	296		393	
<b>資産合計</b>	155,159	100.0	162,919	100.0

(注) 当第3四半期の各数値は監査法人による監査を受けておりません。

負債、少数株主持分及び資本の部				
区分	当第3四半期 (平成15年12月31日)		前連結会計年度 (平成15年3月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
<b>流動負債</b>	47,199	30.4	53,393	32.8
支払手形及び買掛金	24,703		27,285	
短期借入金	4,321		2,652	
賞与引当金	3,306		6,679	
その他	14,867		16,775	
<b>固定負債</b>	16,841	10.9	17,351	10.6
長期借入金	2,514		4,567	
退職給付引当金	13,824		12,301	
役員退職慰労引当金	475		429	
その他	26		53	
<b>負債合計</b>	64,040	41.3	70,744	43.4
<b>少数株主持分</b>	437	0.3	395	0.3
資本金	10,522	6.8	10,522	6.4
資本剰余金	12,647	8.2	6,791	4.2
利益剰余金	77,110	49.7	85,155	52.3
その他有価証券評価差額金	1,042	0.6	47	0.0
為替換算調整勘定	12	0.0	11	0.0
自己株式	10,655	6.9	10,654	6.6
<b>資本合計</b>	90,680	58.4	91,779	56.3
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	155,159	100.0	162,919	100.0

(注) 当第3四半期の各数値は監査法人による監査を受けておりません。

## 1.(2) 要約連結損益計算書

区分	当第3四半期 〔自平成15年4月1日 至平成15年12月31日〕		前連結会計年度 〔自平成14年4月1日 至平成15年3月31日〕	
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)
売上高	109,719	100.0	167,969	100.0
売上原価	67,645	61.7	103,592	61.7
売上総利益	42,073	38.3	64,376	38.3
販売費及び一般管理費	43,775	39.9	61,102	36.3
営業利益	1,701	1.6	3,274	2.0
営業外収益	578	0.6	681	0.4
営業外費用	452	0.4	616	0.4
経常利益	1,575	1.4	3,339	2.0
特別利益	114	0.1	11,587	6.9
特別損失	277	0.3	3,691	2.2
税金等調整前当期純利益	1,738	1.6	11,235	6.7
法人税、住民税及び事業税	411	0.3	4,516	2.7
法人税等調整額	1,129	1.0	1,375	0.8
少数株主利益	59	0.1	34	0.0
当期純利益	1,080	1.0	5,308	3.2

(注) 当第3四半期の各数値は監査法人による監査を受けておりません。

## 2. セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期

	ビルシステム事業 (百万円)	アドバンス オートメー ション事業 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	47,963	52,494	10,514	110,972	1,253	109,719
営業費用	48,023	52,996	11,640	112,660	1,239	111,421
営業利益	59	501	1,126	1,687	14	1,701

前年同四半期

	ビルシステム事業 (百万円)	アドバンス オートメー ション事業 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	48,745	53,021	8,429	110,196	1,455	108,741
営業費用	47,883	55,835	9,519	113,239	1,477	111,761
営業利益	861	2,814	1,090	3,043	22	3,020

## 3. 受注の状況

当第3四半期

	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
ビルシステム事業	59,691	94.7	47,822	89.9
アドバンスオートメーション事業	58,366	104.9	26,220	105.3
その他	10,732	120.7	1,827	130.2
計	128,790	100.9	75,870	95.4
消去	(1,477)	-	(398)	-
連結	127,313	101.0	75,472	95.5

## (参考) 最近における四半期毎の業績の推移

平成16年3月期(連結)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	自平成15年4月 至平成15年6月	自平成15年7月 至平成15年9月	自平成15年10月 至平成15年12月	自平成 年 月 至平成 年 月
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	32,223	45,442	32,053	
売上総利益	11,966	17,719	12,387	
営業利益	2,666	3,324	2,359	
経常利益	2,649	3,308	2,234	
税金等調整前当期純利益	2,664	3,175	2,248	
当期純利益	1,525	1,876	1,431	
1株当たり当期純利益	20.74	25.51	19.46	
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	-	-	-	
	円	円	円	円
総資産	155,324	156,531	155,159	
株主資本	90,289	92,513	90,680	
1株当たり株主資本	1,227.25	1,257.49	1,232.58	

(注) 各数値は監査法人による監査を受けておりません。

平成15年3月期(連結)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	自平成14年4月 至平成14年6月	自平成14年7月 至平成14年9月	自平成14年10月 至平成14年12月	自平成15年1月 至平成15年3月
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	28,639	44,626	35,474	59,228
営業利益	3,807	2,391	1,603	6,294